

次代を担うたまご応援講座

少子化の要因となっている晩婚化・晩産化の進行を抑制し、子育てをしやすい環境を構築するためには、結婚、妊娠・出産、子育てに関する正しい知識やライフデザインの重要性について、若い世代が広く認識することが必要です。

そこで、若い世代が将来の希望をかなえられるよう、高校生を対象とした講座を実施する予定です。

◆事業の概要

県内の高校生を対象に、結婚、妊娠・出産、子育てを含めたライフデザインの重要性、妊孕力、妊娠・出産について正しい知識を学ぶ講座等を実施することにより、若い世代が将来の希望をかなえられ、地域全体で子育てに取り組み、子どもや子育て家庭にやさしい社会をつくる気運を醸成する。

◆内容

50分～90分程度（要相談）で次の①～③の内容を一連の流れとした出前講座
対象：県内の高校生（全体：4～6校、500名程度）

① ワーク「ライフプランニングシートの作成。」

これまでの自分を振り返るとともに、身近な大人達のライフイベントやそのエピソードを聞き、様々な生き方があることを知る。そのうえで、今後の人生設計を考えるライフプランニングシートを作成する。

② 講義 ※以下の内容で講義を実施

- ・結婚、妊娠・出産、子育てを含めたライフデザインの重要性
- ・妊孕力、妊娠・出産についての正しい知識について
- ・県内の結婚・子育てに関するサポート体制について など

③ ワーク「5年後の自分に手紙を書く」

授業内容を踏まえ、未来の自分宛ての手紙の作成する。

（「タイムカプセル郵便」を活用し、実際に5年後（21～23歳）の自分宛てに届くように発送）

※ 事業実施にあたっての留意点

結婚をしない、子どもを持つ・持たないなどは個人の自由な選択によるものであり、多様な生き方があることを前提とした取組みとすること。

◆今後のスケジュール （見込）

令和2年4月下旬 募集開始
令和2年6月 実施校決定
令和2年7月以降～ 実施

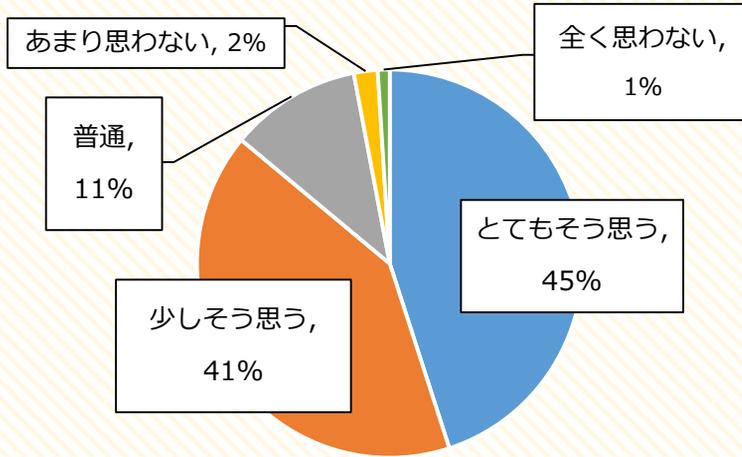
※令和元年度の実施状況

- ①高松南高校（普通科1・2年生）
- ②三木高校（文理科1年生、総合科2年生）
- ③観音寺総合高校（2・3年生）
- ④高松中央高校（商業科）
- ⑤大手前高松高校

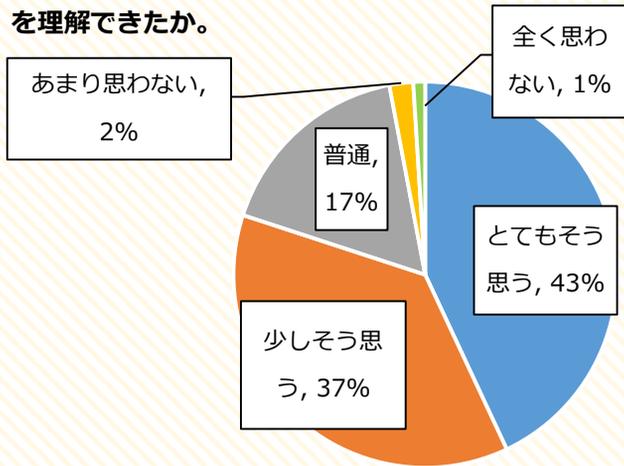
R1実施時の感想等
は裏面へ

令和元年度 実施校における生徒アンケートの結果（抜粋）

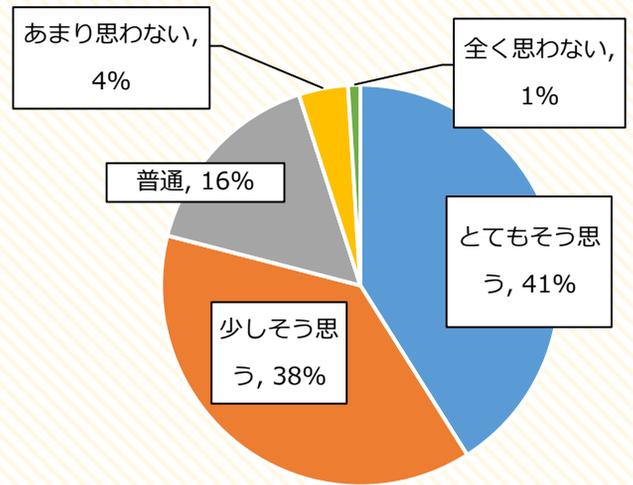
●自分の将来について、授業前より具体的にイメージできるようになったか。



●妊娠・出産等に関する医学的、科学的に正しい知識を理解できたか。



●授業の内容を友達や周りの人に伝えたいと思ったか。



●生徒からの感想（抜粋）

(1)ワーク(ライフプランニングシートの記入等)

- ・過去を振り返り、今までのうれしかったことやつらかったことを思い出し、自分は何かに夢中になるとそれを必死でがんばることがあるんだとわかりました。
- ・自分がこれからどうなりたいかをイメージする機会は少ないのでイメージするのが難しかった。しかし、今後の自分を想像することでそこに向かって何をすべきか考えることができたので良かった。
- ・実は俺は結婚願望があるのだと思った。子どもも欲しいことに気づいた。
- ・私には結婚願望も妊娠願望もあまりなく、ライフデザインを考えるのに苦労しました。先のことはまだよくわからないけど、1つ1つの出会いを大切に生きていこうと思います。

(2)講義(少子化の現状、サポート体制等)

- ・晩婚化、出産年齢が上がっていることを知っていたが、改めて数字で見ると驚いた。
- ・今、多くのサポートが行われており、時代に合わせ、多くの人が子育てなどに協力していることを知りました。将来苦労していることがあったら積極的に相談しよりよい暮らしができるようにしていきたいです。
- ・困ったときは自分の友達や家族などに相談をしてひとりで悩まないようにしたいと思った。

(3)ワーク(8年後の自分への手紙) ※R1年度は8年後の設定としました。

- ・8年後自分が読んで「あの時こう思ってた」と思い出し、自分を見つめなおし、しっかり考えたらいいな、と思いました。
- ・8年後の手紙もゆっくり自分の未来を考えて書いた。今まであやふやだった5年後、10年後のイメージができてとてもよかった。イメージができやすかったですが、もう少し先の人生も慎重に考えてみたい。

(4) その他

- ・今回の授業で自分があまり、未来のことを考えてないことに気づきました。
- ・授業を受ける前までは大学までのことしか考えていなくて、今回の授業でその後の将来を具体的にイメージして考えることができたので良かった。